

卒業研究 2（地域医療薬学分野）

責 任 者・コーディネーター	地域医療薬学分野 松浦 誠 教授
----------------	------------------

・教育成果（アウトカム）

これから迎える超高齢化社会の課題について岩手県および東北地方は先行して直面している。したがって、地域医療・健康課題や、東日本大震災後の長期的健康問題などについて、地域の課題として理解するとともに日本の将来の課題としてとらえ、日本の医療制度・社会保障制度の構造的特性を踏まえるとともに、海外医療制度・地域医療の実際と比較分析を行い、制度設計や薬剤師職能の違いが地域医療アウトカムに及ぼす影響を客観的・批判的に考察できる能力を養う。その上で、地域医療に内在する複合的課題に対して、因果関係を意識した理論モデルを構築し、定量的・定性的データを用いた実情調査、統計解析、妥当性評価を通じて仮説検証を行うなど、社会科学的研究手法を用いた実証的研究を主体的に遂行できる研究能力を修得する。研究設計においては、倫理的配慮や研究の再現性・透明性についても十分に理解し、実践できることを目標とする。さらに、生成 AI（ChatGPT 等）を研究補助ツールとして活用する際の利点と限界、バイアスやハルシネーションのリスクを踏まえ、生成 AI が提示する医薬品情報や医療情報を、医療用添付文書、公的通知、診療ガイドライン、海外文献と照合・検証し、その妥当性・信頼性を学術的根拠に基づいて評価できる高度な情報リテラシーを身につける。これらの成果を基に、地域住民の医薬品理解向上や安全で持続可能な薬物療法の実現に資する政策的・実践的提言を行う。本研究で得られた成果については、学会発表や研究会発表を行うとともに、卒業論文として体系的にまとめることを通じて、研究成果を学術的に発信する能力を養う。発表および論文作成の過程では、論理的構成力、データ解釈力、質疑応答への対応力を高め、将来、薬剤師として研究成果を社会に還元できる高度専門職業人としての資質を完成させる。（ディプロマ・ポリシー：1,3,4,5,6,7,8,9）

・到達目標（SBO）

1. 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる(1061)。
2. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る(1062)。
3. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる(1063)。（知識・技能・態度）
4. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う(1064)。（態度）
5. 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる(1065)。
6. 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる(1066)。
7. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む(1067)。（態度）
8. 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる(1068)。（知識・技能）
9. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する(1069)。（知識・技能）
10. 研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる(1070)。（技能・態度）
11. 研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する(1071)。（知識・技能・態度）
12. 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる(1072)。（知識・技能・態度）
13. 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる(1073)。（技能）
14. 質的研究の手法について説明できる。（☆）

・実習日程

コマ数	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
60	地域医療薬学分野	松 浦 誠 教 授	① 地域医療課題と研究的思考の修得 岩手県・東北地方における超高齢化社会や震災後の健康問題を題材に、地域医療・行政課題を整理する力を養うとともに、社会科学研究においても因果関係の仮説設定、調査、数値化、検証を行う科学的思考プロセスを修得する。 ② 生成 AI を用いた医薬品情報の検証能力の育成 生成 AI（ChatGPT 等）の仕組みと限界を理解した上で、生成される医薬品情報を医療用添付文書や公的資料と比較し、その正確性や誤りの傾向、時間経過による変化を分析・評価できる能力を身につける。 ③ 研究成果の社会還元と学会発信力の獲得 研究結果を基に、一般市民の医薬品理解向上と安全な薬物療法に資する提案を行い、研究の意義と限界を踏まえて論理的に発信する力を養い、卒業研究として学会発表が可能な水準の成果創出を到達目標とする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（Apple MacBookAir）	1	スライド投影のため
講義	タブレット端末（機種は問わない）	1	資料（PDF 形式）閲覧のため